

カンボジア
中央カルダモン森林保全プロジェクト

現地からのお便り

2017年2月
コンサベーション・インターナショナル

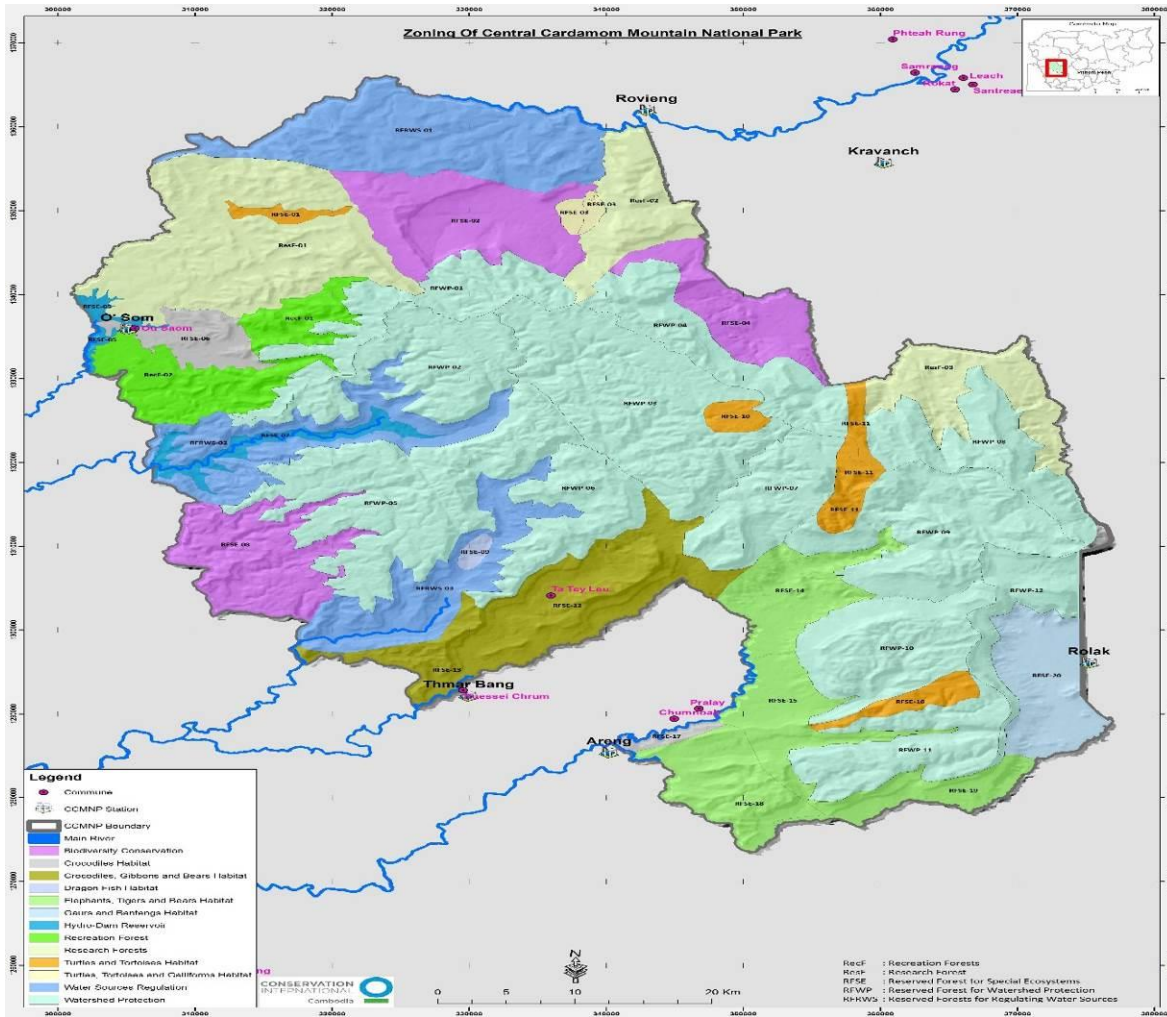


©Conservation International/Photo by Ly Pengly

中央カルダモン国立公園の管理

今期、環境省は「中央カルダモン国立公園」の管理をすすめていきました。以前は森林局に所属していたレンジャーたちは、環境省の所属となり、レンジャーたちにパトロールを許可する業務命令が2016年10月に発令されました。このことは、レンジャーたちがよりいっそう多岐にわたるパトロールを再開できることを意味します。6ヶ月の活動計画には、1) 中央カルダモン国立公園管理計画の完成、2) 安全手順書の完成とレンジャーに対するコミュニティ支援実施のためのトレーニング、3) SMART等を活用した効率的なデータ収集、4) 環境省と協力しての土地区分の作成、5) レンジャーの活動拠点施設の改善の項目が含まれます。

新たな管理計画に含まれる中央カルダモン国立公園の土地区分の作成に備えて、農業と生態系に関する情報を考慮した土地区分図案を作成しました。



トラストファンド（基金）

12月19日、12名の理事会メンバーが出席して、トラストファンド理事会が開催されました。6ヶ月の活動計画と予算案が提出され、財政に関する理事会（Finance Advisory Committee, FAC）設立の最終化に向けて、話し合いが進められました。役員とアドバイザーで構成されるFACは、基金の財務管理を強化し、基金の監視役であるシンガポール銀行とよりよい関係を築き、基金の原資となる資金集めをより広くサポートします。FACのメンバー候補者についても、それぞれの履歴書を見て検討しました。

基金の現状も紹介されました。現在の残高は200万USドル。今後6ヶ月間の給与、諸経費、インフラ整備、能力強化の費用として、7万USドルが初めて基金から引き出される予定です。いよいよ基金の運用が始まります。

パトロールと違法行為への対応

今期は雨季と重なっている期間が長かったので、長時間のパトロールの回数は少なくなっています。そのような中、レンジャーたちの努力により、周辺地域に深刻な環境破壊を引き起こす可能性のある違法

なイエローバイン工場を閉鎖させることができました。この快挙はカンボジアデیلیーでも報道されました。

中央カルダモン国立公園の南部で新しい道路が建設されています。コミュニティに利益をもたらすことも期待されますが、様々な人のアクセスが容易になるため、違法行為の取り締まりにとっては、大きな課題です。

Thmar Bang ステーションの修復が完了し、O'Som ステーションが完成しました。4 つの協力機関と環境省と協力して、今後6ヶ月間かけて、各ステーションの運営経費を作成していきます。

308回（延べ317人日と9晩）、合計4110kmのパトロールを実施しました。15人が土地の開墾について警告を受け、76個の木材、エアガン一丁、前装式銃一丁、207個のわな（ナイロン製204個、ロープ式3個）、7台のチェーンソー、なた一丁、が押収されました。2箇所の違法キャンプが撤去され、17ヘクタールの土地を違法な開墾から守ることができました。





パトロールの様子と押収品 ©Peov Somanak

トレーニング

中央カルダモン国立公園のマネージャーであるマナック氏は、タイで開催された USAID による野生生物貿易に関するトレーニングに参加しました。6 箇所のステーションのマネージャーは、野生生物生態調査のトレーニングを受けました。レンジャーのための合同訓練が Samkos Worldlife CCMNP により開催されました。



©Conservation International/Photo by Ly Pengly

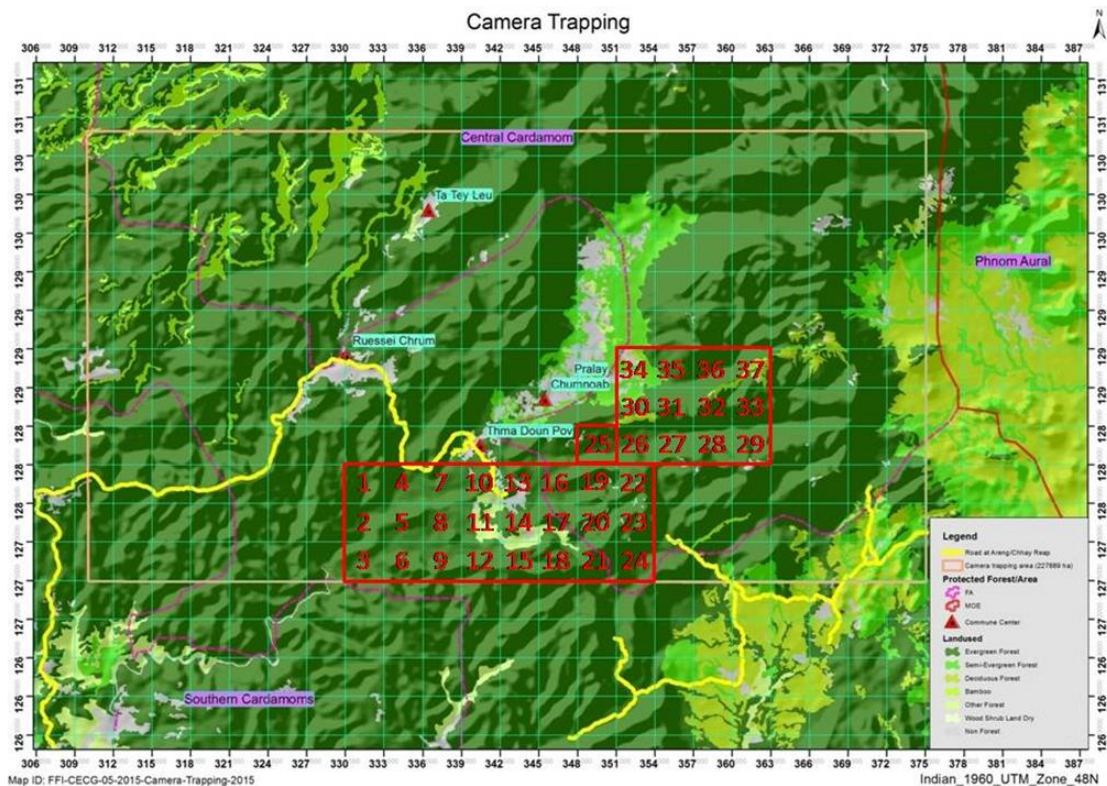
生物多様性調査：カメラトラップデータ

多くの生物多様性調査に成功しています。環境省とパートナーNGOのFFIと協力して、中央カルダモン国立公園に設置されたカメラトラップからデータを収集しました。



優先地域で保全管理を実施するためには、特に大型の哺乳動物の生息をより正確に把握することが非常に重要です。

カメラトラップは 3 km² の広さの中に基盤の目状に設置されました。マスごとに一台のカメラが設置されています。カメラトラップのトレーニングが全スタッフ向けに開催されました。安全対策についても説明があり、現地作業を始める前に全員が救急用品と無線通信機材を携帯しました。ビデオとカメラを同じ数ずつ、設置する前に足跡を残した動物を撮影できる高さに設置しました。



中央カルダモン国立公園南部に、基盤の目状に設置したカメラトラップ

全部で 4,233 枚の写真と 56,912 個のビデオクリップが撮影されました。65 種類の脊椎動物が撮影されており、妊娠中のゾウの映像も撮影されていました。さらに、ツキノワグマ (*Ursus thibetanus*)、テミンクネコ (アジアゴールデンキャット、*Catopuma temminckii*)、ガウル (*Bos gaurus*) も撮影されていました。



妊娠しているゾウ (FFI/ MoE/ CI カメラトラップ)

コミュニティ主導型のエコツーリズム (Community Based Eco-tourism)

今期は、非常に速いスピードで開発が進みました。最近も、JJ-SEA (ジェブセン・アンド・ジェッセン、シンガポール) 社がインフラ設備工事とプロジェクトの内容評価をサポートするために、ボランティアスタッフを現地へ派遣してくれました。ボランティアスタッフはエコツーリズムの内容をより理解するために、いくつかのアクティビティに参加しました。



インフォメーションセンターの壁にペンキを塗るボランティア

※画像および文章の無断転用はご遠慮ください。